

豊洲・情報アクセシビリティ WS

参加者募集

豊洲は、様々な人々が暮らし、働く街であるとともに、多くの人々が訪れる活気にあふれた街です。また、豊洲は、この10年余りにつくられた地区、以前から続く地区など、バラエティに富み、子供、子育て世代、中・高年、障害のある人、外国からの人など、多様な人々が生活しています。

「多様な人々が生活したり訪れる街」という観点で見た時、豊洲には優れた点が多くありますが、改善すべき点もあります。たとえば、歩道と公開空地で確保した広い歩行空間。多くの人にゆとりある街並みを与えている反面、視覚障害のある人には歩行の手がかりが少なく、一人で歩くことが困難に。でも、ガイド役となる点字ブロックが十分ではありません。また、ちょっとした段差や階段も、車椅子の利用者や高齢の人、ベビーカーを利用している人には危険な場所ともなります。これらは、普段の生活では見過ごしがちで、知ったり、疑似体験してみると目から鱗が…。

2020年オリンピック・パラリンピックの際には、海外から多くの、かつ、障害のある人を含む多様な人々が訪れます。今は元気でも、年を重ねると誰でも身体機能が低下します。住む人、働く人、訪れる人、みんなにやさしい豊洲の街にしていくためには、一人ひとりが他者を理解すること。

「豊洲・情報アクセシビリティ WS」は、学生と地域の皆さんが共に、情報アクセシビリティの観点から、豊洲の街の良い点や改善すべき点を見だし、体験し、理解し、これからの豊洲の街づくりに役立てようとする試みです。

今回は、全盲の疑似体験を通して、視覚情報が遮断された状態で街がどのように“見える”のか、情報アクセシビリティの観点からどのような課題があるのか、改善点は何か、工夫されている点はあるのか、などについて、全盲の障害当事者と参加者で話し合います。

皆さんの参加をお待ちしています。

- 責任者 : 中村広幸（芝浦工業大学工学部教授）
- 開催日時 : 2018年12月1日（土曜日） 10時から13時
- 実施場所 : 芝浦工業大学豊洲校舎～豊洲周辺
- 集合場所 : 芝浦工業大学豊洲校舎 502 教室（教室棟 5 階）
- 参加費 : 無料
- 申し込み : 氏名、年齢、メールアドレス、電話番号、住所を記し、
nkmr@shibaura-it.ac.jp までメールで、当日9時までに申し込んでください
- 備考 : 本 WS は、芝浦工業大学工学部の授業「情報アクセシビリティ論」「福祉と技術」及び、
情報通信学会・情報社会研究会の共催です